

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-230184

(43)Date of publication of application : 16.08.2002

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

H04M 3/42

H04M 3/50

H04M 11/00

(21)Application number : 2001-064092

(71)Applicant : CREATIVE DO:KK

(22)Date of filing : 31.01.2001

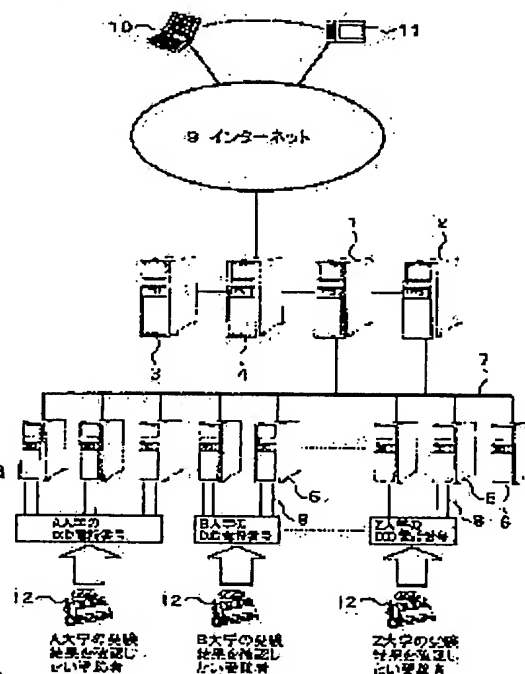
(72)Inventor : YOSHIDA SHIGERU

(54) SUCCESS/FAILURE GUIDANCE INFORMATION SYSTEM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a success/failure guidance information system capable of collating the result of success/failure of an entrance examination or qualifying test or the like as guaranteed primary information by using various communication networks and communication terminals as necessary.

SOLUTION: The success/failure guidance information center is provided with a database server for storing the various personal information of an examinee, a control server for performing line control and system control, Web server for Internet connection, and a plurality of communication servers for performing the communication control of a telephone, a cellular phone, a PHS(personal handy phone system), or a fax or the like from the examinee, and the plurality of communication servers are assigned according to the number of contract lines of contractors such as schools. Also, automatic answering countermeasures with a voice is performed in response to collation through the telephone or the fax from the examinee, and the display of the examined result on a browser screen is performed in response to collation through a personal computer or a hand-held terminal or the like. Moreover, the automatic answering countermeasures with a voice or the display of the examined result on a cellular phone/PHS screen is performed in response to collation through the cellular phone or the PHS.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 12.04.2004

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 24.10.2006

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision
of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-230184

(P2002-230184A)

(43)公開日 平成14年8月16日 (2002.8.16)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード(参考)
G 0 6 F 17/60	1 2 8	G 0 6 F 17/60	1 2 8 5 K 0 1 5
	5 0 4		5 0 4 5 K 0 2 4
	5 0 6		5 0 6 5 K 1 0 1
H 0 4 M 3/42		H 0 4 M 3/42	B
3/50		3/50	A
審査請求 未請求 請求項の数 2 書面 (全 6 頁) 最終頁に続く			

(21)出願番号 特願2001-64092(P2001-64092)

(22)出願日 平成13年1月31日(2001.1.31)

(71)出願人 301007098

株式会社クリエイティブ ドゥ

東京都新宿区神楽坂2-4 結城ビル2F

(72)発明者 吉田 茂

東京都新宿区神楽坂2-4 結城ビル2F

株式会社クリエイティブドゥ内

Fターム(参考) 5K015 AA06 AB01 AB02 GA04 GA09

5K024 AA76 BB02 CC01 CC08 CC09

CC11 FF03 FF06 GG05

5K101 KK01 KK02 KK16 LL12 NN13

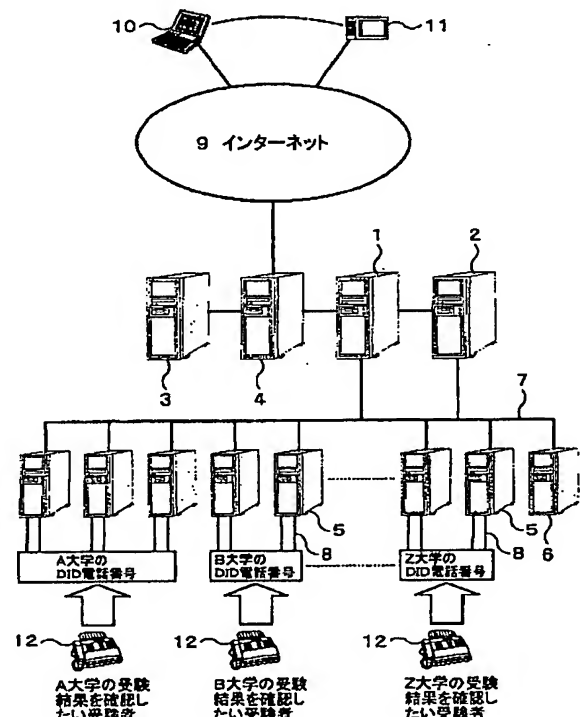
NN18 PP04

(54)【発明の名称】 可否案内情報システム

(57)【要約】

【課題】 入学試験や資格試験等の可否の結果を、保証された一次情報として各種通信網及び通信端末を利用して随時照会することができる、可否案内情報システムを得る。

【解決手段】 可否案内情報センター内に受験者の各種個人情報情報を蓄積するためのデータベースサーバと回線制御及びシステム制御を行うためのコントロールサーバとインターネット接続のためのWEBサーバと受験者からの電話、携帯電話、PHS又はFAX等の通信制御を行うための複数の通信サーバ等を設置し、前記複数の通信サーバを学校等の契約者の契約回線数に応じて振り分ける。また、受験者からの電話又はFAXによる照会に対し、音声応答による自動対応を行い、パソコンや携帯情報端末等による照会に対し、ブラウザ画面に受験結果の表示を行う。更に携帯電話やPHSによる照会に対し、音声応答による自動対応又は携帯電話/PHS画面に受験結果の表示を行う。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 合否案内情報センター内に受験者の氏名や受験番号等の各種個人情報や蓄積するためのデータベースサーバ（3）と回線制御及びシステム制御を行うためのコントロールサーバ（1）とインターネット接続のためのWEBサーバ（4）と受験者からの電話、携帯電話、PHS又はFAX（12）等の通信制御を行うための複数の通信サーバ（5）と前記コントロールサーバ（1）のバックアップを行うためのバックアップサーバ（2）と複数の通信サーバ（5）のバックアップを行うための通信バックアップサーバ（6）とを設置し、前記複数の通信サーバ（5）を学校等の契約者の契約回線数に応じて振り分け、受験者からの公衆電話網を介しての電話又はFAXによる照会に対し、音声応答による自動対応を行い、インターネット（9）を介してのパソコン（10）や携帯情報端末（11）等による照会に対し、ブラウザ画面（16）に受験結果の表示を行い、更に携帯電話網やPHS網を介しての携帯電話やPHSによる照会に対し、音声応答による自動対応又は携帯電話／PHS画面（17）に受験結果の表示を行うことを特徴とした、合否案内情報システム。

【請求項2】 音声応答による自動対応の操作過程において、通信サーバ（5）に音声認識機能を持たせ、読み上げた数字やアルファベットをアルファニューメリックデータとして認識可能とすることによりアルファベット混在の受験番号や受験部科番号にも対応できることを特徴とした、請求項1に記載の合否案内情報システム。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】 本発明は、大学を始めとする各種学校の入学試験若しくは資格試験等の合否の結果を、公衆電話網による電話、FAX又は携帯電話網による携帯電話又はPHS網によるPHS及びインターネットによるパソコン、携帯情報端末等の各種通信網及び通信端末を利用して照会することができる、合否案内情報システムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来、大学を始めとする各種学校の入学試験若しくは資格試験等の合否の結果を逸早く確認するには、合格発表日に各試験を実施した学校又は会場に受験者自身又は代理人が赴き、掲示板等に張り出された合格者リストを確認する方法が一般的に行われている。また、特に大学においては電話、電報又はレタックスによる合否結果を通知するサービスを行っているところもある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、上記のように受験結果を確認するため各試験を実施した学校又

は会場に受験者自身又は代理人が赴く方法では、現地に到達するまでの時間と手段が必要になり、特に大学入試の受験結果を確認する場合には遠方に赴くこともあるため、時間的及び経済的に大きな負担となっていた。また、電話、電報又はレタックスによる合否結果の通知サービスによる方法では、該サービス自体が大学側で運営しているものではなく合格者リストから得た二次情報であり、信頼性に欠け保証されたものではなかった。

【0004】 これらの問題点を解決するため特開平06-324623号公報においては、大学側が作成した合否データ情報を合否案内情報センターのデータベースに蓄積し、電話による音声応答サービスにより受験結果を通知する方法が述べられている。また、該公報では回線の混雑を緩和するため受験者に電話のアクセス許可日時を指定することにより、回線の混雑を解消することを目的としている。しかしながら、該方法は受験結果を逸早く知りたいという受験者の心理を無視するものであり、受験者にとって好ましい方法ではなかった。また、特開平08-97923号公報等においても、受験結果を電話による音声応答サービスで通知する方法が述べられているが、新規性及び進歩性のあるものではなかった。

【0005】 本発明は、上記のような問題点に鑑み成されたものであり、大学を始めとする各種学校の入学試験若しくは資格試験等の合否の結果を、保証された一次情報として各種通信網及び通信端末を利用して随時照会することができる、合否案内情報システムを提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】 上記課題を解決するため、本発明の合否案内情報システムにおいては、合否案内情報センター内に受験者の氏名や受験番号等の各種個人情報を蓄積するためのデータベースサーバ3と回線制御及びシステム制御を行うためのコントロールサーバ1とインターネット接続のためのWEBサーバ4と受験者からの電話、携帯電話、PHS又はFAX12等の通信制御を行うための複数の通信サーバ5と前記コントロールサーバ1のバックアップを行うためのバックアップサーバ2と複数の通信サーバ5のバックアップを行うための通信バックアップサーバ6とを設置し、前記複数の通信サーバ5を学校等の契約者の契約回線数に応じて振り分ける。また、受験者からの公衆電話網を介しての電話又はFAXによる照会に対し、音声応答による自動対応を行い、インターネット9を介してのパソコン10や携帯情報端末11等による照会に対し、ブラウザ画面16に受験結果の表示を行う。更に携帯電話網やPHS網を介しての携帯電話やPHSによる照会に対し、音声応答による自動対応又は携帯電話／PHS画面17に受験結果の表示を行う。

【0007】

【実施例】本発明の実施例を図を用いて説明する。図1は本発明の可否案内情報システムにおける各種サーバー及びインターネットのシステム系統図である。

【0008】まず、学校等とは運営が別である可否案内情報センター内に、受験者の氏名や受験番号等の各種個人情報を蓄積するためのデータベースサーバー3と、回線制御及びシステム制御を行うためのコントロールサーバー1と、インターネット接続のためのWEBサーバー4及び前記コントロールサーバー1のバックアップを行うためのバックアップサーバー2を設置する。また、受験者からの電話、携帯電話、PHS又はFAX12等の通信制御を行うための複数の通信サーバー5と、該複数の通信サーバー5のバックアップを行うための通信バックアップサーバー6を設置し、前記サーバー群とイーサネット（登録商標）ケーブル7にて接続する。

【0009】また、前記WEBサーバー4はISPを経由してインターネット9に接続し、各通信サーバー5には高速デジタル通信網例えば現時点においてはNTTのINS（登録商標）1500回線8を数本ずつ接続する。更に、該複数の通信サーバー5を学校等の契約者の契約回線数に応じて振り分け、各契約者毎にDID電話番号を設定する。

【0010】図1において、例えばA大学には3台の通信サーバー5が割当てられ、B大学には2台の通信サーバー5が割当てられ、Z大学には2台の通信サーバー5が割当てられている状態を示している。ここで、各大学の試験担当部署が作成した受験者の個人情報や受験結果及び点数や偏差値等の試験結果を含む複数のレコードから成るデータベースファイルを通信回線又はFD等によりコントロールサーバー1よりデータベースサーバー3に取り込み、又は前記データベースファイルをインターネット9を経由してWEBサーバー4よりデータベースサーバー3に取り込んで蓄積しておく。また、該蓄積データの信憑性を確認するため、プルーフを各大学の試験担当部署に返信してコンペアをとる。

【0011】合格発表日以降において、受験者からの公衆電話網を介しての電話又はFAX12による照会又は携帯電話網を介しての携帯電話による照会又はPHS網を介してのPHSによる照会に対し、音声応答による自動対応を行う。

【0012】図1において、例えばA大学を受験した受験者が電話又はFAX12でA大学の可否案内サービスのDID電話番号に問い合わせをかけると、コントロールサーバー1は該電話番号よりA大学への問い合わせと認識し、A大学のデータベースを起動する。このようにして、B大学やZ大学等の他の大学に問い合わせがあっても同様に対応するデータベースを起動することができる。また、問い合わせ件数が設定した回線数を超えた場合には、通信サーバー5より回線がビジー状態であることをメッセージする。

【0013】上記において、電話で問い合わせをかけた場合、受験者を確認するため受験番号や受験部科番号及び予め登録しておいた暗証番号を音声メッセージに従ってプッシュホンのボタン操作により入力する。通信サーバー5は、該入力項目が正しく入力されたことを認識した後、受験結果や試験結果等のメッセージを自動で送信する。なお、通信サーバー5に音声認識機能を持たせ、受験者が読み上げた数字を数値データとして認識可能とする手段を有すれば、前記プッシュホンのボタン操作を行う代わりに数字を読み上げることにより入力を行うこともできる。更に、数字以外にアルファベットの認識機能を持たせれば、アルファベット混在の受験番号や受験部科番号にも対応可能となる。また、点数確認は予め登録しておいた点数確認暗証番号を入力することで可能となる。

【0014】また、図2は本発明の可否案内情報システムにおけるFAX返信フォームの概略構成図であり、FAXで問い合わせをかけた場合、FAXに付属の受話器にて上記電話での問い合わせと同様の操作を行った後、最後にFAX返信フォーム取出しのための操作を行うことにより図2に示すようなFAX返信フォーム13を受信することができる。該FAX返信フォーム13には合格者受験番号14が明記され、更に連絡事項等がある場合には備考欄15に該内容が明記される。

【0015】また、インターネット9を介してのパソコン10や携帯情報端末11等による照会に対し、ブラウザ画面16に受験結果の表示を行うこともできる。図3は本発明の可否案内情報システムにおけるブラウザ画面フォームの概略構成図であり、パソコン10や携帯情報端末11等をインターネット9に接続後、可否案内情報センターの運営するホームページを開いて受験結果を照会したい大学名、受験番号、受験部科番号、受験者名及び暗証番号等を入力することにより、WEBサーバー4を経由して各大学のデータベースより受験者の受験結果データを検索する。そして、受験者の所持するパソコン10や携帯情報端末11等のブラウザ画面16に該受験結果データを表示することにより確認することができる。該ブラウザ画面16には前記FAX返信フォーム13と同様に合格者受験番号14が明記され、更に連絡事項等がある場合には備考欄19に該内容が明記される。

【0016】なお、携帯電話やPHSによる照会に対しては上述の音声応答による自動対応の他に携帯電話／PHS画面17に受験結果の表示を行うこともできる。図4は本発明の可否案内情報システムにおける携帯電話／PHS画面での応答イメージ図であり、①に示すように可否案内センターのURL入力を行うと、②に示すように大学コードの入力を求める画面が表示される。ここで、受験結果を照会したい大学の大学コードを入力すると、③の受験番号の入力を求める画面が表示される。こ

ここで、受験番号を入力すると④の受験番号確認画面及び⑤の受験部科確認画面が表示される。そして、該情報を確認して「はい」を選択すれば受験結果が表示される。

【0017】図5は本発明の合否案内情報システムにおける照会概念図であり、データベースサーバ3に蓄積されているデータベーステーブル18より1の電話又はFAXによる照会に対して音声又はFAX返信フォームによる照会ができ、11のパソコン又は携帯情報端末による閲覧照会に対してブラウザ画面13による閲覧参照ができ、111の携帯電話又はPHSによる閲覧照会に対して携帯電話/PHS画面17により閲覧参照ができることを示している。

【0018】

【発明の効果】以上述べたように、本発明の合否案内情報システムを大学を始めとする各種学校の入学試験若しくは資格試験等の合否の結果照会システムとして採用すれば、現地特に大学の合格発表のように遠方に赴かなくても自宅に居ながら逸早く受験結果を知ることができるため、時間的及び経済的に負担がかからないという絶大な効果を奏することができる。また、該受験結果の情報源は試験担当部署が作成した一次情報であるため、保証されたものとなる。更には公衆電話網による電話、FAX又は携帯電話網による携帯電話又はPHS網によるPHS及びインターネットによるパソコン、携帯情報端末等の各種通信網及び通信端末を利用して照会することができるため、時間や場所及び目的に応じた照会手段を自由に選択することができるという効果も奏することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の合否案内情報システムにおける各種サーバ及びインターネットのシステム系統図である。

【図2】本発明の合否案内情報システムにおけるFAX返信フォームの概略構成図である。

【図3】本発明の合否案内情報システムにおけるブラウザ画面フォームの概略構成図である。

【図4】本発明の合否案内情報システムにおける携帯電話/PHS画面での応答イメージ図である。

【図5】本発明の合否案内情報システムにおける照会概念図である。

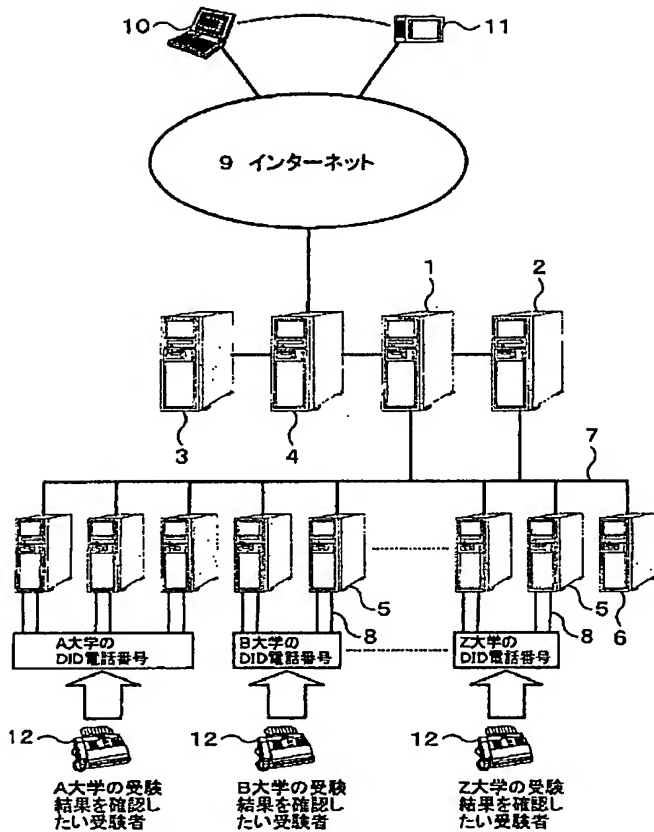
【符号の説明】

- 1 コントロールサーバ
- 2 バックアップサーバ
- 3 データベースサーバ
- 4 WEBサーバ
- 5 通信サーバ
- 6 通信バックアップサーバ
- 7 イーサネットケーブル
- 8 INS1500回線
- 9 インターネット
- 10 パソコン
- 11 携帯情報端末
- 12 電話、携帯電話、PHS又はFAX
- 13 FAX返信フォーム
- 14 合格者受験番号
- 15 備考欄
- 16 ブラウザ画面
- 17 携帯電話/PHS画面
- 18 データベーステーブル

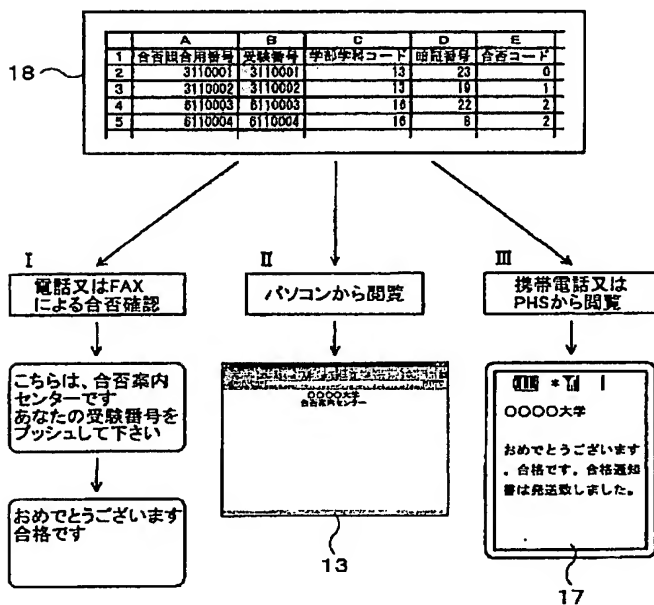
【図2】

【図3】

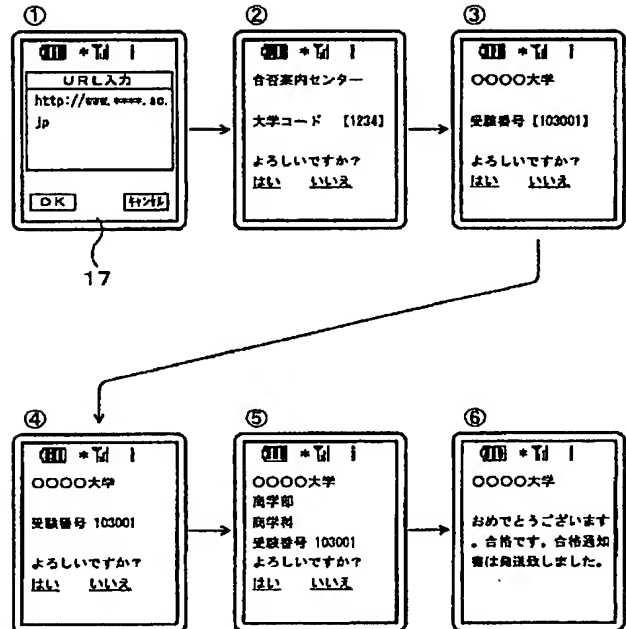
【図1】



【図5】



【図4】



フロントページの続き

(51) Int. Cl. 7

H04M 11/00

識別記号

302

FI

H04M 11/00

ターマコード (参考)

302